

# 「令和の日本型学校教育」を担う教師の人材確保・質向上に関する検討本部の設置

令和3年1月19日  
文部科学大臣決定

## 1. 目的

令和2年12月25日の中央教育審議会において示された、「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申素案）」において、令和の日本型学校教育の実現に向け、質の高い教員が教育を行うことの重要性に鑑みて教員養成・採用・研修の在り方について検討を行うこととされたことを踏まえ、当面の取組とともに、中長期的な実効性ある方策を文部科学省を挙げて検討していくため、「『令和の日本型学校教育』を担う教師の人材確保・質向上に関する検討本部」を設置する。

## 2. 検討事項

- (1) 35人学級を担う教師の確保 (2) 社会人等多様な人材の活用 (3) 教職課程の高度化と研修の充実  
(4) 教員免許更新制の在り方 (5) その他「令和の日本型学校教育」を担う教師の人材確保及び質向上を実現するために必要な事項

## 3. 構成員

本部長 文部科学大臣 副本部長 丸山文部科学審議官  
本部長 総合教育政策局長 初等中等教育局長 高等教育局長

## 4. 幹事会

本部の下に幹事会を設置する。

(幹事) 略

## 5. 庶務

本部及び幹事会の庶務については、初等中等教育局の協力を得て、総合教育政策局がこれを処理する。

## 6. その他

必要に応じて、上記以外の職員及び有識者の参画を求めることができる。

○萩生田文部科学大臣

最後に、**本日、私の下に令和の日本型学校教育を担う教師の人材確保質・向上に関する検討本部を設置することとしました**ので、ご報告いたします。

(中略)

中央教育審議会においても令和の日本型学校教育を実現するための教員養成、採用、研修の在り方について、今後さらに検討をしていくこととされており、また教育再生実行会議におけるご議論においても、個別最適な学びを実現するためには教師の指導力の向上も重要であるとのご意見を多くいただいていることから、**当面の取り組みとともに中長期的な実効性ある方策を文部科学省を挙げて検討していくために、私の下に検討本部を設置することといたしました**。私自身が先頭に立ち、質の高い教師の確保に向けて取り組みを進めてまいりたいと思います。

(中略)

**令和の日本型学校教育を担う質の高い教師を確保していくためには、既存の仕組みにとらわれることなく、どのような在り方が望ましいかという観点で、中長期的な検討を深めていくことが必要であると考えており、一方、当面は既存の制度の枠内で実効性のある取り組みを迅速に進めていくことも重要**であると考えております。

(中略)

最後、**目指すべき出口は何か**といったら、私が常に申し上げているように、教師という職業を再びあこがれの職業にしっかりとバージョンアップして志願者を増やしていくことにしたいと思います。(中略) **やっぱり夢のある、やりがいのある仕事なんだ**ということをしっかり理解してもらえるような、そういう教師像というものを求めて検討していきたいと思っています。

## 今後更に検討を要する事項

「令和の日本型学校教育」の実現を目指していく上では、本答申を踏まえ、知・徳・体のバランスのとれた資質・能力の育成に向け、引き続き状況を注視し、取組を進めていく必要がある。また、**特に 以下に挙げる点については 今後も 改革に向けた検討が重要であるとの指摘がなされており、引き続き検討を深めつつ、方向性が定まったものについては速やかに実施する必要がある。**

- GIGAスクール構想により整備されるICT環境の活用と、少人数によるきめ細かな指導体制の整備を両輪として進め、**個別最適な学びと協働的な学びによる「令和の日本型学校教育」を実現するための、教職員の養成・採用・研修等の在り方**
- 校長を中心に学校組織のマネジメント力の強化が図られ、自主的・自立的な取組を校長を中心に学校組織のマネジメント力の強化が図られ、積極的に支援し、社会の変化に素早く的確に 対応するための教育委員会の在り方、特に、教育委員会事務局の更なる機能強化や、首長部局との連携の促進、外部人材の活用等をはじめとする社会との連携等を含む教育行政の推進体制の在り方

また、子供たちの学びは幼稚園から高等学校段階で完結するものではなく、高等教育機関での学びや、実社会で活躍しながらの学び直しといった形で、人生100年時代 において 学び続けることとなる。特に高等教育機関においては、初等中等教育段階における学びとの連続性に鑑み、本答申で述べた「令和の日本型学校教育」の姿や方向性等を踏まえて、高等教育においても自らの可能性を最大限に発揮し、これからの時代に求められる資質・能力を育ていけるよう、多様性と柔軟性を持った教育の実現を図ることが重要である。このため、初等中等教育と高等教育とが連携を密にしながら、学校教育全体を俯瞰した改革が進められることを期待する。